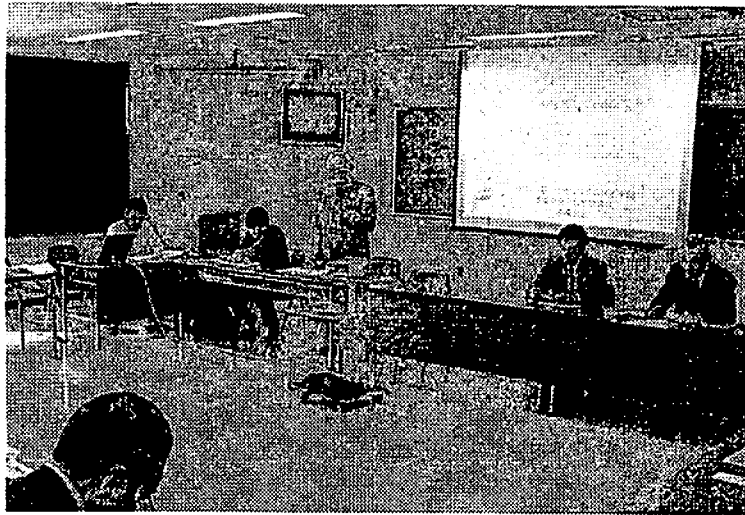


## バイオプロセス 技術活用を研究

いわきバイオプロセス研究会(会長・関口武司いわき明星大科学技術学部教授)の第1回研究会が17日、常磐下船尾町の県ハイテクプラザいわき技術センターで開かれた。研究会はバイオプロセス技術や周辺技術に関する知識の習得、勉強会、情報交換、研究成果の発表などを行うとともに、



産学官による技術開発や共同研究開発を行うことが目的。最終的には、バイオプロセス

技術を活用した事業の創出を目指そうと、趣旨に賛同する企業、県や市などの行政、大学、短大、高専などの研究者、NPOなどの団体、個人などが参加し、

2月に発足した。研究会には会員約20人が出席。関口会長のあいさつ、自己紹介が続いてこれまでの経過が説明された。報告事項として、丹治惣兵衛福島大地域創造支援センター教授がモノの集荷場・加工工場の視察、杉森大助同大共生システム理工学類准教授がカナダで開かれた酵素工学国際会議について説明した。

討議では、ふくしま産学官連携推進事業の補助

を受けた2事業の進め方や今後の研究会活動の進め方について話し合われた。